



社会教育委員会議 資料

総合文化会館建設の賛否に 係る住民投票の経過

佐久市の社会教育分野の経緯として、社会教育委員に
改めて知っておいてもらいたいこと

令和7年9月25日  佐久市長 柳田 清二

佐久市総合文化会館の 建設を問う住民投票

平成22年11月14日

それまでの流れ

■ 昭和63年

議会に総合文化会館建設特別委員会を設置

■ 平成19年

市民アンケート 72%の市民が賛成

-2-

北陸新幹線沿線の文化施設

● 長野市芸術館

【長野市】東京まで83分



開館: 平成23年(2011年)
客席: 1292席

● サントミューゼ

【上田市】東京まで78分



開館: 平成26年(2014年)
客席: 1530席

● 軽井沢大賀ホール

【軽井沢町】東京まで68分



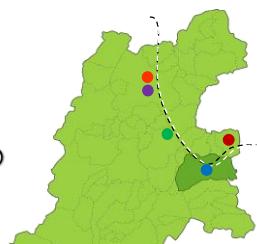
開館: 平成17年(2005年)
客席: 784席

● ホクト文化ホール

【長野市】東京まで83分



開館: 昭和58年(1983年)
客席: 1971席



● 佐久市総合文化会館(案)

【佐久市】東京まで73分



開館: 平成27年(2015年) ※当時予定
客席: 1476席

-3-

期待された効果

- 新幹線で東京まで最速73分(当時)であることを活用して今まで行えなかつた公演を可能にする。
- 全県レベルの催し物開催で、交流人口の創出に寄与する。
- 文化事業の充実により、お金では換算できない心の豊かさを生み出す。

-4-

見通せる未来

- 10万人都市、1,500人の文化会館を頻繁に満員にさせるイベントは行えない
- 満員の場合には駐車場が不足し、渋滞も発生
- 維持費もかかる



『誰がこの施設を造ったんだ？』

-5-

長野県議会議員としての苦い経験

■ 田中康夫知事への不信任案提出 可決

- ▶ “人”の否定
- ▶ 脱ダム宣言は県民の安全を守れない

-6-

住民投票は政策の選択

**政策の転換を求めるのならば、
不信任案提出ではなく
住民投票で行うべきだった**

-7-

徹底した情報公開による市民参加型市政

- 市民説明会 21回



- 公開討論会 2回

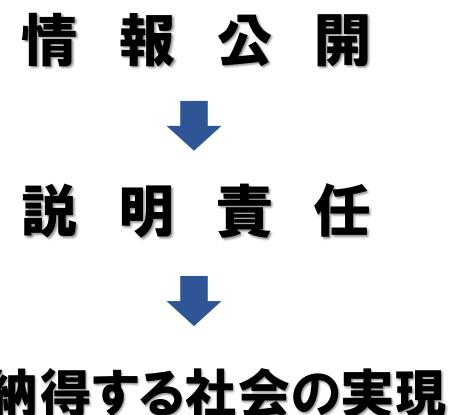


- 説明会でのやり取りの情報公開の徹底

※ 別添資料1を参照

-8-

目的と手段



-9-

佐久市総合文化会館 イメージパース



-10-

佐久市総合文化会館 住民投票結果

有権者数 80, 015人

■ 投票数 43, 904票

■ 投票率 54. 87%



■ 反 対 31, 051票 (71.07%)

■ 賛 成 12, 638票 (28.93%)

■ 無 効 215票

-11-

全県的にも 住民投票の動向に 大きな注目が集まった

* 別添資料2に再掲



-12-

残された課題

- 土地をどうするか
- 20億円の基金をどうするか
- 合併特例債で土地を購入:30億円
国からの返還命令への対応

-12-

土地をどうするか

住民投票で問うたものは、
『今』、『あの規模』、『あの場所』

► 都市計画決定は行わない
『ひろば』を建設する



-13-

20億円の基金をどうするか

● 大阪府債
国 債 を購入

※ 1.7%の利率で20年間（当時）

3,400万円 ► 文化振興基金

※ 別添資料3に基金活用事業を掲載

-14-

合併特例債

返還命令は出なかった

総務省の英断

民主主義の本質を理解した判断